

精神衛生・看護学講座

DEPARTMENT OF MENTAL HEALTH/ PSYCHIATRIC NURSING

精神衛生・看護学講座で何をやっている？

心の健康問題とストレス分野の研究および教育を国際的な視野から推進しています。

研究内容

職場のメンタルヘルス
社会と健康

ソーシャルインクルージョン
精神疾患を有する人のリカバリー

教育活動

精神保健学実習では、精神障がい者の人にインタビューします。よい経験になりますよ！

卒業論文テーマ

<2012年度>

- * Fruit and vegetable consumption in adolescent and health in early-adulthood
- * 自傷行為はアディクションなのか
- * 過労死・過労自殺訴訟は株価を下げるか？
- * アルコール依存症を有する女性が自助グループの効果をいかに感じているかの文献検討
- * 仕事への態度とリカバリー経験との関連についての検討

<2011年度>

- * 東日本大震災における関東A市のPTSD症状の分析
- * 医療・福祉の現場における演劇の活用に関する文献検討
- * こころの健康と子どもを持つということ



教室のスタッフ

研究指導をしっかりとやります！

<川上憲人 教授>

精神保健の疫学研究、産業精神保健が専門です。職業性ストレスの健康影響評価と対策、地域住民のうつ病や自殺の研究を行っています。「住民の4人に1人がうつ病を経験、うち4人に3人は医療機関を受診しない」などは研究成果の一部です。国際学会の理事長、理事として毎月、海外に出かけています。同行者募集中です。

研究室：医学部3号館S306
連絡先：kawakami@m.u-tokyo.ac.jp



<島津明人 准教授>

臨床心理学、健康心理学が専門です。従業員のストレス対処やストレスマネジメントの効果評価、仕事での活力（ワーク・エンゲイジメント）、ワーク・ホリズム、仕事と生活のバランスについて研究しています。「よく働きよく遊ぶ」人ほど、元気でパフォーマンスが高いことなどを明らかにしてきました。

研究室：医学部3号館S307
連絡先：ashimazu@m.utokyo.ac.jp



<宮本有紀 講師>

保健学科出身の精神看護学の専門家です。精神健康に困難のある人の看護および健康向上、生活支援について幅広い研究活動を行っており、これらの領域に関心の高い大学院生の研究指導と学部学生の精神看護学教育などを担当しています。

研究室：医学部3号館S207
連絡先：yyuki-ky@umin.ac.jp



<森俊夫 助教>

同学科出身で、臨床心理士。

ブリーフサイコセラピー（短期心理療法）では、わが国の指導的な立場にあり、当教室では院生を対象に心理療法のセミナーを行っています。スクールカウンセリングや発達障害の療育に関する研究も行っています。

研究室：医学部3号館S209
連絡先：morimail@m.u-tokyo.ac.jp



<梅田 麻希特任助教>

バックグラウンドは保健師で、これまでに保健所や国際保健NGOで働いていました。研究のテーマは暴力の連鎖で、特にジェンダーや貧困などの社会経済的要因の影響について研究を進めています。

研究室：医学部3号館S209
連絡先：makiumeda-ky@umin.ac.jp



修士論文（公共健康医学専攻の場合）は課題研究）テーマ

<2012年度>

- * 被災地におけるK6尺度の心理測定的特性及び属性別得点分布の特徴：被災地データおよび一般国民データの二次解析による比較
- * 気分障害により求職中の労働者における電子メールセルフ・モニタリング支援の効果：予備的研究
- * 日本の養護教諭における仕事から過程の葛藤と就業状況との関連
- * 事業場におけるメンタルヘルス対策の実施状況—事業場規模および産業保健スタッフの有無との関連性の検討—

<2011年度>

- * 性同一性障害を有する人の自殺念慮が消失または軽減していくプロセスに関する質的研究
- * How does child abuse have an impact on adulthood household income in the U.S., Japan, Colombia?: Findings from the World Mental Health Surveys (アメリカ、日本、コロンビアにおいて、児童虐待の経験は成人期の家計収入にどれほど影響を与えるのか？～世界精神保健調査の解析からわかったこと～)
- * 職場におけるメンタルヘルスの第一次予防対策に関する費用便益分析
- * 共働き夫婦におけるワーク・ライフ・バランスとその関連要因の検討



博士論文テーマ

<2012年度>

- * Effects of an internet-based cognitive behavioral therapy (iCBT) intervention for improving depression among workers: A randomized controlled trial. (労働者に帯するインターネット認知行動療法(iCBT)による抑うつ症状改善効果：無作為化比較試験)
- * Marital violence and access to health care: How does socioeconomic status affect the association? (配偶者間暴力と医療アクセス：社会経済的要因の交互作用に焦点を当てて)
- * Supervisor Leadership Style and Workplace Bullying among Japanese Civil Servants: A Six-month Follow-up Study. (日本人公務員における上司のリーダーシップ形態と職場のいじめ・ハラスメントとの関連：6ヶ月間の追跡調査)
- * The Reliability and Validity of Three Internet Addiction Instrument in the Japanese Population. (日本人集団における三つのインターネット依存尺度の信頼性と妥当性)

<2011年度>

- * Effectiveness of the program to facilitate recovery focused on enhancing benefit-finding, personal meaning, and well-being for people with chronic mental illness: a randomized controlled trial (慢性精神疾患をもつ人を対象とした、ベネフィット・ファインディング、人生の意味、ウェルビーイングを高めることに焦点をあてたリカバリー促進プログラムの効果検討：無作為化比較試験)
- * Workaholism and sleep quality among Japanese employees: A prospective cohort study (労働者におけるワーカホリズムと睡眠の質との関連：前向きコホート研究による検討)
- * Nondirective and Directive Support Survey 日本語版 (NDSS-J) の開発およびNondirective supportとDirective supportの糖尿病患者の不安・抑うつに対する影響の検討
- * Burden, health-related quality of life, and gain of social support among family caregivers of stroke patients (脳卒中患者の家族介護者の負担感、健康関連QOL (クオリティオブライフ)、公的・私的支援獲得について)



大学院修了生の主な進路

- * 大学：和歌山県立医科大学、三重県立看護大学、聖路加看護大学、京都大学、兵庫県立医療大学、首都大学東京、名古屋大学、慶応義塾大学、東北福祉大学、順天堂大学、東京医療保健大学、静岡県立大学、自治医科大学、産業医科大学
- * 研究所：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、独立行政法人労働安全衛生総合研究所、日本医療政策機構、医療科学研究所
- * 病院：国立精神神経センター国府台病院、武蔵病院、東京武蔵野病院、都立大塚病院
- * 官公庁：厚生労働省
- * 国際機関：国際連合、AMDA、JICA
- * 地域臨床：病院・クリニック精神保健での活動；NPOコンボ
- * 心理クリニックへの就職、開業 * その他：企業への就職、起業など

精神衛生学・精神看護学についてもっと知りたいと思ったら...

ホームページで調べる：<http://plaza.umin.ac.jp/heart>

研究室を訪ねる：各教員に連絡をとってみてください

先輩を訪ねる：大歓迎です！

